

# 稲山会

## 通信

### 第21号

2010年7月1日発行

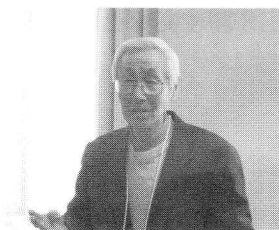
発行人：斉藤雄二 発行所：稲門山の会事務局 TEL03-3367-3723 FAX03-3367-8150 ©稲門山の会1998

## 2010年 稲門山の会新年会報告

2010年2月6日(土)大隈会館において48名の参加を得て、恒例の新年会が盛大に開催されました。昨年に引き続き今年度も遠方のOB、OGの方々に参加して頂く為に、土曜日に開催いたしました。

今年も遠方から参加されたOBの方々、諏訪から金子(弘)OB、那須から鈴木OB、札幌から狩野OBありがとうございました。又、今年は嬉しいことに待望の山の会現役学生2名が参加しました。副幹事長の笹川君(政経1年)、会計の宮沢君(理工1年)の諸君です。幹事長の安食君は都合で参加できませんでした。現役学生の皆さんが紹介されると、参加のOBの方々は目を細めて喜び合いました。今後は現役学生の活動を期待し応援していきたいものです。

金子治雄 (S.41年卒)



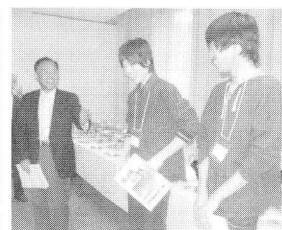
▲上田代表・挨拶



▲吉田副代表・乾杯の音頭



▲斉藤(延)役員・活動報告



▲新井役員・現役学生の紹介

出席者(卒業年度、会員番号順)

34、35年卒 上田、市村、小島、宮野、各OB

36年卒 伊東、新川、宮沢、藤沢、清水、西山、荒川、各OB

37年卒 山本(貴)、加納、恩田、金子(弘)、篠原、胡桃、三木、打矢、各OB

38年卒 宇野澤、栗又、松村、白倉、吉田、各OB 40年卒 田野辺、笠原、梅崎、鈴木、山崎、斎藤(洋)、各OB

41年卒 金子、稲吉、各OB 42年卒 松浦、久富、高岡、各OB 43年卒 佐久間、太郎良、各OB

45年卒 青山、斎藤(延)、各OB 46年卒 鳥田、新井、各OB 47年卒 森田、豊田、各OB

48年卒 林OB 52年卒 倉本、狩野、各OB 現役学生 笹川、宮沢

計48名

## 2010年 秋のキャンプのご案内

幹事 太郎良・斎藤・新井

昨年に引き続き、山里でのキャンプを予定しています。

秋の夜長、豚汁とバーベキューで腹を満たし、キャンプファイアを囲み、山の歌を歌い若き日の思い出話に花を咲かせるイベントです。日程は10月2日(土)～3日(日)を予定しています。お酒も沢山用意します。是非皆様参加下さい。

場所は昨年同様 神奈川県愛甲郡清川村の清川自然の村を予定しています。その他候補地もあり、現在選定中です。皆様取り敢えず、日程だけでも押さえておいて下さい。

## 会員近況報告—2010年新年会返信はがきより—

\* 昨年9月、5年振りに海外ツアー「ペルーアンデス眺望・インカトレイルトレッキング13日間」に参加しました。飛行機のロスで半日延発。山用品も1日延着のトラブルにあいました。

(S.33 三ツ木信二)

\* お世話さまになっております。ゲレンデの初級コースをおそろおそろ滑ったりしております。

(S.37・古林美穂子)

\* 昨年、ヒマラヤ山脈の東端「ブータン王国」に行ってきました。幸福度（GNH）を追い求める国、仏教を国教とした君主立憲国、我々が反省する面が多々ありました。(S.37・梅田浩美)

\* 去年11月16日、71才の誕生日を甲武信岳で打矢、笠原の3人でむかえました。百名山も残り12座。今年中に完登できればと思っています。(S.38・広瀬舜一)

\* いつも欠席で申し訳ありません。一昨年7月定年退職し、その後今日まで非常勤講師として大学院、学部を講義を担当しています。(S.38・市村隆哉)

\* 山も酒も低調で、今年こそもうひと花と考えています。登りでかなりバテルのが不本意でなりません。(S.38・松村啓之亮)

\* 仕事を軽くして、地域活動に力を入れています。思う様にはゆきませんが、継続は力と思い微力ですが、頑張っています。好きなゴルフと時々山登りは今後も続けていきます。

(S.39・真下健弥)

\* 正月は小林氏とブータンで過ごしました。(S.39・宮内隆輔)

\* 山はごぶさたです。少々マラソンをしています。ストレス解消のため。(S.39・高橋勇雄)

\* 昨年収穫した青肌大豆で味噌（24kg）を作りました。大根は土の中。白菜は室で保存。後は春を待つのみです。(S.39・木場純一)

\* 只今自宅にて病氣療養中。(S.40・五十嵐健)

\* 2月6日は別の会に出席する予定で神戸行きを決めています。井上昌代さんとも一緒に、6日



▲雷鳥荘から朝の奥大日岳

は彼女のお宅に泊めていただくことになっています。

いつも欠席で申し訳ありません。(S.40・堀口公子)

\* 2月4日から17日までモロッコへ行きます。サハラ砂漠で朝日・夕日の写真を撮る予定です。

(S.40・保屋野厚)

\* 元気に暮らしています。冬は冬籠り中です。通常は晴耕雨読、釣の生活です。

(S.40・梅崎興一郎)

\* 1/16～24とスイス・ツェルマットへスキーの予定です。もう少し近ければ皆様にお会いしたいのですが。元気ですのでよろしくお伝え下

さい。(S.40・井上昌代)

\*しばらくぶりにハイキングをしてきましたが、なかなかペースがあがりませんでした。しかしその後の体調は筋肉痛がでたものの良好です。(S.41・海野俊男)

\*①2/14より久し振りに上京します。少しタイミングが合いませんでした。残念！②遊び・趣味・ボランティアと忙しい日々を送っています。③年間2～3回ずつ上京・(富山)帰省。

(S.41・布村征司郎)

\*昨年は近隣でのサークル活動や自転車などをはじめたのですが、途中で帯状疱疹を悪化させ、苦しみました。やっと回復してきたので、健康に注意しながら活動してゆくつもりです。

(S.42・渡辺征二)

\*昨秋はエベレスト街道トレッキングでカラパタール(5450m)まで行ってきました。今年はモンブラン登頂が目標です。(S.42・松浦正道)

\*今年中に仕事を離れる予定にしています。実母がこの4月について100才。介護の時間が増えて新しい生活スタイルが必要になりそうです。(S.42・大久保紘一郎)

\*山のトレーニングのつもりで始めたマラソンに熱が入り、フルマラソンの大会にも出場するようになりました。(S.43 佐久間正昭)

\*久々に山の仲間に箱根の山につれていってもらいました。皆さんの健脚ぶりに感心しました。

(S.46・福田栄一)

\*とりあえず元気です。この3月で退職します。会の行事にも参加できるようになりそうです。

(S.46・島田弘康)

\*年令と体力が気になり始めましたが、ハイキングとスキーは続けています。年に1度はアルプスのピークに立ちたいと思っています。昨年は槍のピークに立ちました。今年は雪が多そうで楽しみです。(S.46 新井昭夫)

\*11月末で中央三井カード(株)を定年退職しました。現在再就職待機中です。

(S.47・松村幹雄)



▲奥大日岳から剣岳・東大谷

\*振込み用紙をお送り下さい。  
会費払います。

(S.50・加賀谷欣治)

\*野菜の有機栽培を始めて3年目です。山に行かずとも自然とともに生きています。

(S.51・倉川秀明)

\*09年4月より名古屋に転勤となり、単身赴任しております。残念ながら新年会は欠席とさせていただきます。よろしくお願いします。

(S.53・辻和利)

\*遅くなり申し訳ありませんでした。昨年の半導体関連は最悪の状況でしたが、何とか生き残っているという感じです。

(S.58・里方昭彦)

## 2010年 山とスキーの会「尾瀬・丸沼高原」報告

新井昭夫 (S.46年卒)

市村OBの名幹事で、スタートした貸し切りバスでの楽しいスキー、今回で20回目。記念の今回は尾瀬・丸沼高原。山の会からの参加者は市村夫妻、大国夫妻、三ツ木夫妻、関根夫妻、上田、



▲いざ出発

佐藤、本橋、太郎良、新井OB、加えて市村、大国OBのご友人を含め、総勢21名。出発は3月5日(金)19:30東京駅発、帰りは7日(日)東京駅着16:30で混雑を避け、帰りの途中に白根温泉にも浸かり、楽しむことができました。宿はゲレンデのすぐ下、歩いて10分の便利な場所の「ペンションふぁみり」。立派なペンションでご主人は、元日本山岳会のメンバーで気持ちの良い方。

土曜日は生憎、天候は良くなく、視界がなくて霧雨状態。但し、夕方に少し明るくなり、景色、雪面が見える瞬間もありました。



▲初参加の太郎良さんと一緒

日曜日は前日の降雪で恰好のスキー状態。ロープウェイ乗り場の標高が1,400m、ロープウェイで、高さ600mを登り、2,000m地点から滑ってこられます。滑走距離が2,500m、ロープウェイに乗っている時間は11分、ゆっくりだが、休まずに下まで一気に滑り下りるのに20分かかりました。

このスキーの会は、貸し切りバスなので、バスの中で宴会をしながら、楽しくスキー談義に花咲かせながら行けるのが魅力です。

## 2010年 春のハイキング報告「桜のみち弘法山」

齋藤延雄 (S.45年卒)

今回は、神奈川の“花の名所百選”に選ばれている弘法山公園コースで、適当なアップダウンに健康な汗をかき、満開の桜を眺め春の息吹を十分に堪能して参りました。当日は最若手の豊田OB(47年卒、60歳)を含め17名のOBが参加されました。昼食は弘法山公園の展望台近くのベンチに陣取り、コンロで作ったキムチ鍋を肴に、差し入れのワインや麓で調達したビール・酒・焼



▲春のハイキング・弘法山



▲鶴巻温泉にて解散・全員集合

酎で喉を潤し、ほろ酔い気分で鶴巻温泉に下山、解散致しました。解散後、温泉で井村OBの快気祝いをしたグループもあったようです。皆様 来年も是非参加下さい。

・日時・場所 2010年4月10日(土) 小田急秦野駅集合(10:00)～弘法山公園(11:30-13:00)～鶴巻温泉(14:30) 解散(15:00)

・参加者 34年卒 上田代表 36年卒 清水OB 38年卒 吉田 松村 白倉 各OB  
40年卒 井村 梅崎 齋藤 田野辺 山崎 長谷川 各OB  
41年卒 齋藤OB 43年卒 太郎良OB 45年卒 齋藤OB  
46年卒 新井 福田OB 47年卒 豊田OB

## 投稿：現役山行 春の八ヶ岳天狗岳

笠原 豊 (S.40年卒)

現役の黒百合平から天狗岳の山行に、付加的に参加しました。現役と行程は同じですが、行動、宿泊(テント)等は別でした。

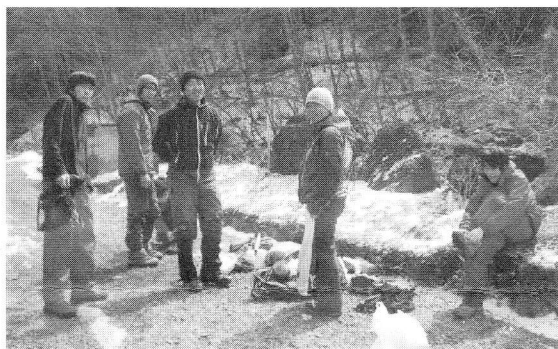
参加メンバー：山の会現役：安食(2年)、筒井(3年)、宮沢(2年)、笹川(1年)、町田(学院3年)、川島(同)+OB：笠原

期間：2010年3月22日(月)～23日(火)

行程：茅野＝渋の湯－黒百合平－中山峠－天狗岳－黒百合平－渋の湯＝茅野

現役は天幕生活・雪上訓練をし、風雪の中、天狗岳に登り、当初の目的を達成しました。

編集者注：当同行記は稲門山の会ホームページからの抜粋です。詳細はホームページをご覧ください。



▲渋の湯、登山準備



▲アイゼンワーク登り訓練



▲中山峠へ向かう現役



▲滑落停止訓練

## 投稿：思いつき山行記録—39年卒組の活動—

宮内隆輔 (S.39年卒)

よい機会なのでS.39年卒業組の状況をご報告します。19名卒業したのですが、既に鬼籍に入られた井上・飯泉君、疎遠になった2名を除いて15名が家族ぐるみでお付き合いをしています。中心は同期会兼家族旅行です。毎年1回、日本中を旅しており、必ず軽登山が含まれています。昨年は3泊4日で知床・羅臼・根室などを16名参加でドライブしました。今年は2泊3日で佐渡ヶ島に行く予定です。もう一つは、最近始めた低山ハイキングで、200名山を目指している松本君を中心に、東京近郊の山歩きを、これも家族ぐるみで年数回楽しんでいます。最後は最も特徴ある「思いつき……」の海外登山です。スタートしたのが50歳になってからで、体力が落ちた分をお金で穴埋めして、既に15回〔小生の個人分を含む〕海外登山をしています。登山といっても登頂目的でなく、トレッキングや眺めて終わりという場合も多いのですが、39年卒業の内5名が2年生のときに「早稲田大学西表島調査隊」に参加しており、その後、宮内が東南アジア、井上がアフリカ、小林がエクアドル遠征隊に参加しており、探検部的色彩が濃いメンバーが多いのです。思いつき遠征日数は186日間にもなり、又、各遠征隊はきちんと報告書が発行されており、その分量も486頁になりました。本年はオーストラリア一周ドライブが計画されており、その最高到達点は348mの「エアーズ・ロック」です。(笑い)

1994・8月：タンザニア・キリマンジャロ 5780米 (宮内・松本・真下・井上他)

先発の井上の英語が下手だったのか、通常山小屋泊まりコースの予約が取れておらず、急遽反対側の南稜をテント泊まりで登攀することになりました。最後の登攀日は行動記録では20時間かかっており、かなりハードな登山でした。

1996・9月：韓国・雪嶽山 (小林・井上夫妻・中込・岡崎・松本・宮内)

海外で初めて同期会を開催、リーダーの小林の観光地という甘言に乗せられての2泊3日の山旅でしたが、最後の沢くだりでは道が流されており、真っ暗になって小屋にたどり着く有様でした。

1998・10月：タクラマカン・西域踏査隊4000km (宮内・小林・真下・井上他)

パミール・タクラマカン砂漠横断をしました。途中でナンガ・パルバットドイツ登山隊BCへトレッキングしました。17日間のロングドライブでした。

2000・8月：モンゴル・オトゴンテンゲル登山 4021米 (宮内・小林)

ある時、白い帽子を被ったモンゴルの山の写真を見て登ることにしましたが、データが全く無



▲思いつきモンゴル登山隊・オトゴンテンゲル



▲オトゴンテンゲル頂上・宮内隆

く、ぶっつけ本番に近い形で出かけました。広い高原をジープでようやく麓に到着、ACを設営して翌日登頂しましたが、大口たたいていたガイドがアイゼンの歩き方も知らない奴で、ザ

イルを結べば一気に1000米も落ちている谷へ共々真逆様の状況、氷河はクレバスが多数あり、頂上では吹雪でした。帰路、パオで野鼠を焼いて食べたのが懐かしい思い出です。

### 2002・8月：チョモランマ還暦登山隊（小林・宮内）

還暦のパーティーでチョモランマ遠征用の登山用具を寄贈され、やむなく、とりあえず偵察ということで出かけることにした。チベット・ラサから大型トラックに装備を詰め込んで勇躍BCに乗り込んだら、待てど暮らせど高所ガイドが来ない。何か手違いがあって、短靴を履いた観光ガイドがやってきた。登れるところまでということで出かけたが、そのときのロンボク氷河は温暖化の為、轟々と水が流れており渡渉できない。あきらめて、食料、装備もあるので隣のチョー・オユーに転戦して出かけるも、今度はチベット高原で道に迷い、仕方なく国境を越えてカトマンドウへ出て遊んで帰国した。「思いつき……」たる所以である。



▲滑落停止訓練思いつきチョモランマ偵察隊

### 2004・8月：北極点 2006・12月：南極点（宮内他）

北極はロシアの原子力砕氷艦、南極は大型イリュージョン・ジェット機をチャーターしての旅で、南極は29日間かかり、ただひたすらにテントの中での耐える旅であった。その後、パタゴニアに足を伸ばした。

### 2007・5月：台湾・玉山 3952米（小林・岡崎・磯部・宮内他）

この山は二年生の学生時代からのターゲットであった。最初キナバル山を目標にしていたが、そのあと遠征経費の関係で玉山に変更、それも外貨割り当てがとれなく、涙を呑んだ山である。体を壊して、寿命は「70歳までですよ」と医者に冷たく宣言されても、ここだけは登ろうと考えていた。まだ、ヒョロヒョロする足を引きずりながら皆の応援でかろうじて登ることができた。

その他、宮内個人では、1992・4月にボルネオ・キナバル（4101米）、1993・12月にはニューギニア・ウシルヘルム（4508米）に登っています。同期と一緒に一緒の山行では、1988・8月にマッキンレー山麓、1995・7月にはペルー・ボリビアのチャカルタヤ（5395米）に登頂、2005・5月には北朝鮮国境の白頭山（2690米）に登り、2008・9月にはアマゾンのロライマ山（2723米）に登っています。その他、同期の松本・真下が欧米のマッターホルン等、小林がエクアドル・カヤンベ等を登頂しています。

宮内海外遊山表

| 年・月     | 目的地      | 山         | ランク  | 高度   |
|---------|----------|-----------|------|------|
| 1988・8  | アラスカ     | マッキンレー    | T/LY | 6194 |
| 1992・4  | ボルネオ     | キナバル      | C    | 4101 |
| 1993・12 | ニューギニア   | ウシルヘルム    | C    | 4508 |
| 1994・8  | タンザニア    | キリマンジャロ   | CY   | 5780 |
| 1995・7  | ペルー・ボリビア | チャカルタヤ    | CY   | 5395 |
| 1996・9  | 韓国       | 雪嶺山       | CY   | 1708 |
| 1998・10 | タクラマカン   | ナンガ・バルバット | TY   | 8125 |
| 2000・8  | モンゴル     | オトゴンテンゲル  | CY   | 4021 |
| 2002・8  | チョモランマ   | チョモランマ    | T/LY | 8848 |
| 2004・8  | 北極点      | 極氷原       | T/LY | 0    |
| 2005・5  | 北朝鮮国境    | 白頭山       | CY   | 2690 |
| 2006・12 | 南極点      | ピンソンマシフ   | L    | 3200 |
| 2007・5  | 台湾       | 玉山        | CY   | 3952 |
| 2008・9  | アマゾン     | ロライマ山     | CY   | 2723 |
| 2009・12 | ブータン     | チョモラリ     | LY   | 7314 |
| 2010・9  | オーストラリア  | エアーズ・ロック  | 予定   | 348  |

1) 注) Cー登頂 Lー観望 Tートレッキング Yー山の会参加  
その他松本・真下が欧米中心にマッターホルン・シミラウシ等  
小林がエクアドル中心にコトバキシ・カヤンベなどに登頂している。

## 2009年度会計報告（2009年1月1日～12月31日）

稲門山の会

単位：円

| 項 目                      | 収 入     | 支 出       | 残 高       | 備 考 欄         |
|--------------------------|---------|-----------|-----------|---------------|
| 前期からの繰越額（預金・現金計）         |         |           | 4,998,731 |               |
| 年会費納入額                   | 595,000 |           |           | 延148名分        |
| 新年会費（61名）                | 366,000 |           |           |               |
| 金融機関等の預金受取利息             | 1,610   |           |           |               |
| 山の会バッジ販売                 | 0       |           |           | 創立50周年記念バッジ   |
| 新年会費用の支払（大隈会館・ホテル）       |         | 441,000   |           | 無断欠席者補填分含む    |
| インターネット基本料＋ホームページ        |         | 59,645    |           | 稲山会HP         |
| 東京都山岳連盟年会費               |         | 20,000    |           |               |
| 山の会行事補助金（秋のキャンプ他）        |         | 0         |           | 2009年度は補助なし   |
| 現役補助金（ホームページ作成＋新人募集ポスター） |         | 180,202   |           | HP作成プログラム等含む  |
| 役員会会合費（大隈会館席料5回分）        |         | 31,500    |           |               |
| 稲山通信印刷費（第18号・19号2回分）     |         | 104,370   |           | 印刷会社へ支払分      |
| 事務局経費（切手、封筒、葉書等）         |         | 200,000   |           | 新年会・各行事等の案内   |
| 銀行振込代及び雑費（都岳連祝金含む）       |         | 40,528    |           | 都額連創立60周年式典出席 |
| 収支合計                     | 962,610 | 1,077,245 | 4,884,096 |               |
| 項目別預金残高内訳書               |         |           |           |               |
| 一般会計 郵便公社預金              |         |           | 2,380,794 | 通帳残高額と確認済     |
| 年会費入金振替郵便口座              |         |           | 224,300   | 通帳残高額と確認済     |
| みずほ銀行口座                  |         |           | 266,916   | 通帳残高額と確認済     |
| 特別会計 遭難対策費（郵便定期預金①）      |         |           | 1,000,000 | 通帳残高額と確認済     |
| 遭難対策費（みずほ銀行定期預金②）        |         |           | 1,012,086 | 通帳残高額と確認済     |
| 合 計                      |         |           | 4,884,096 |               |

上記の会計報告を致します。会計幹事：関根聰一郎（会計監事が銀行残高証明書と照合済みです）

## 山口昌之OBの追悼登山と偲ぶ会のお知らせ

山口昌之OBの追悼登山と偲ぶ会が、山の会OB、探検部OB、広島市の友人の合同で行われますので概要をお知らせします。詳細の案内状は別途関係者に送付されます。

実施日：2010年7月18日（日）……山口昌之OBの命日

追悼登山：屋久島 宮之浦岳（登頂を目指すパーティーとトレッキングの2パーティー）

偲ぶ会：宮之浦岳下山後、現地屋久島で開催。尚、稲門山の会から和田OB、市村OB、大国OB、山下OBが発起人になっております。

## 弔事に関するお知らせ

今後、稲門山の会会員が亡くなられた時に、稲門山の会が10,000円相当の生花・花輪・香典（名称は早稲田大学山の会・稲門山の会併記）のいずれかを、弔意行為品として準備致しますので、稲門山の会会員にご不幸がありましたら、役員会にお知らせ下さい。

## 編集後記

21号には笠原豊OBの投稿「現役山行」と宮内隆輔OBの投稿「思いつき山行記録・39年卒組の活動」を載せることが出来ました。各年度の同期の方々が集まって山行・行事行った場合は、簡単な報告と写真を送って下されば、「稲山会HP」あるいは「通信」に投稿として載せて頂きます。尚近況報告にある「奥大日岳」と「剣岳」の写真は、41年卒組が本年5月に奥大日岳に登った時に撮ったものです。

齊藤雄二（S.41年卒）